

## 1 市民対話事業の実施状況

### (1) 基本的な考え方

#### ① 幅広い市民対話の実施

➢ 市民に身近な場所で丁寧に説明する機会の創出

#### ② 招致に関する議論を深める

➢ メディア連携や公開討論会等を通じて、期待や懸念の声を聞き、議論を深める

### (2) 市民説明会

#### ① 実施日程及び来場者数

| 日程                   | 会場                  | オープンハウス | 説明会  | 計      |
|----------------------|---------------------|---------|------|--------|
| 7月29日～9月9日<br>うち13日間 | チカホ、大型商業施設を中心に計11か所 | 4,120人  | 216人 | 4,336人 |
| 9月14～16日             | オンライン説明会(計4回)       | -       | 212人 | 212人   |
|                      | 計                   | 4,120人  | 428人 | 4,548人 |



#### ② 総括

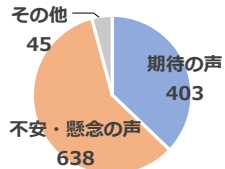
➢ 「オープンハウス」は、チカホや大型商業施設を中心に実施したこともあり、子どもから高齢者まで幅広い層が会場を訪れ、学生やファミリー層の来場も目立った。

➢ 「競技を間近で観戦したい」「札幌を世界にPRできる」など期待の声をいただいた一方、「東京2020大会と同じ問題が起こらないか不安」「大会予算が事後に増加するのでは」などの声も多くあった。

➢ また、招致を期待する声の中にも招致への不安や懸念が入り混じっており、市民の不安も未だ根強い現状。



【寄せられた意見の内訳(件)】



### (3) 公開討論会・フォーラム

| 実施日  | 主催         | タイトル           |
|------|------------|----------------|
| 8/3  | 株)北海道新聞社   | 札幌五輪招致の現在地     |
| 8/21 | 一社)札幌青年会議所 | あなたは賛成? 反対?    |
| 9/7  | 札幌招致期成会    | それぞれの視点からのオリパラ |



### (4) オリパラ出前講座

令和5年10月30日時点

|       | 実施回数 | 参加者数   |
|-------|------|--------|
| 令和5年度 | 79回  | 2,637人 |

※累計(令和3～5年度)  
 実施回数 277回 (R3:82回、R4:116回、R5:79回)  
 参加者数 10,359人 (R3:2,062人、R4:5,660人、R5:2,637人)

### (5) その他情報発信の取組

#### ① メディア連携やオウンドメディア等を活用した情報発信

- 報道機関による市民対話事業や公開討論会等の報道
- ラジオを活用した市民対話事業の周知及び情報発信
- 札幌市公式ホームページやLINE等での情報発信
- 関係団体の広報誌等を活用した情報発信

#### ② パンフレットや動画を活用した情報発信

- 大会運営見直し案を盛り込んだ大会概要案ダイジェストの制作・配布
- Q & A形式の解説動画及び大会コンセプト動画の制作・放映

## 2 大会運営見直し案について

### (1) これまでの検討過程

➢ 本年5月に大会運営見直し案検討委員会を設置以降の検討過程は、以下のとおり

|       | 2023年度                        |            |   |  |    |                       |
|-------|-------------------------------|------------|---|--|----|-----------------------|
|       | 5月                            | 6月         | 7月  | 8月   | 9月 | 10月                   |
| 市議会   | 冬季オリパラ調査特別委員会 (5/29)          |            | 冬季オリパラ調査特別委員会 (7/7)   |  |    | 冬季オリパラ調査特別委員会 (10/30) |
| 検討委員会 | 第1回 (5/22)                    | 第2回 (6/28) | 専門部会 (ガバナンス関係/マーケティング関係)<br>東京2020大会関係者等へヒアリングを行うとともに、各部会で専門的な議論を実施 |  |    | 第3回 (10/3)            |
| 札幌市   | 大会運営見直し案の検討<br>●見直し案中間報告(7/7) |            |   |  |    |                       |
|       |                               |            |   | 見直し案へ反映  |    |                       |
|       |                               |            |   | 見直し案や大会概要案に関する情報発信・市民対話                            |    |                       |
|       |                               |            |   | 東京2020大会パートナー企業、在札の冬季競技団体、東京2020大会組織委員会派遣職員へのヒアリング |    |                       |

### (2) 大会運営見直し案の位置付け

- 本委員会における議論に加えて、検討委員会での議論や市民意見等を踏まえ、中間報告の内容をより具体化したもの
- 2030年大会の開催が決定した場合に、組織委員会等が実現すべき取組として札幌市から提案することを想定し検討
- 2034年以降の開催可能性を探るに当たり、現時点の検討内容として策定・公表するものであり、今後の情勢の変化等に応じて必要な修正を行うことを想定

### (3) 具体的な見直し案

#### ① 理事会の在り方

理事会の規模は東京2020大会の約半数の20名程度、女性理事割合は50%程度を目指す 等

#### ② マーケティング事業の在り方

組織委員会による適切な管理監督の下、複数企業が参画可能な代理店活用の仕組みを検討 等

#### ③ 利益相反管理の在り方

民間企業出向者は、利害関係が生じる部署の長には配置しない 等

#### ④ 調達のとおり方

業務内容の適切な切り分けやスケジュール管理の徹底などの取組による競争性・公正性の確保 等

#### ⑤ 情報開示の在り方

札幌市公文書公開制度に準じた情報公開制度の導入 等

#### ⑥ 実効性の担保

特別措置法によって、強力な権限を有する外部委員会等を設置 等